



～太陽と海と緑～観光文化のまち～

もとぶ

2020年

9月



あま～い! もとぶかりゆしゴールド

7月30日、「もとぶかりゆしゴールド」のスティックパインが学校給食に登場しました。詳しくは8ページへ

目次

むとうぶくとうば単語帳贈呈 ほか	2
町政80周年特集 ほか	3
新型コロナウイルス対策事業	4～5
情報ひろば	6～7
シークワサー出荷式 ほか	8

私たちの町

令和2年7月31日現在

世帯数	6,471 世帯 (-16)
人口	13,201 人 (-22)
男	6,722 人 (-13)
女	6,479 人 (-9)
	() 前月比



9月21日～30日は、
秋の全国交通安全運動が
実施されます。



熱中症に注意！室内でもこまめに水分補給しよう。

本部町産あぐ〜を使用した豚丼が学校給食に！



豚丼を美味しく食べる児童たち

7月27日、本部町産あぐ〜を使用した豚丼が、町内幼稚園、小中学校の学校給食に提供されました。7月は県産品奨励月間であったことから、地元産品を地元で消費して、町産品を子ども達に広く知って頂くことを目的に提供されました。

本部町産あぐ〜を使用した豚丼を食べた、本部小学校2年生の上原心春さんは「甘くて美味しかった。あぐ〜の肉は、普通の豚肉よりもやわらかかった」と笑顔で話しました。また、同校2年生の宮城辰吉くんは「やわらかくて美味しかった。お家でも食べたい」と話し、多くの児童がおかわりもして喜んでいました。

6字のむとうぶくとうば単語帳が完成！

7月10日、むとうぶくとうば単語帳の贈呈式が、町役場で行われました。同単語帳は、編集委員会が子ども達に、しまくとうばを通して歴史と文化を楽しく学んでもらおうと作成し、町教育委員会へ贈呈しました。

贈呈を受けた知念教育長は「しまくとうばを通して、自分たちのふるさとに誇りをもつてくれることを期待し、活用させていただきます」と感謝しました。

「ぬふあ（伊野波）くとうば単語帳」を作成した仲程利光さんは「集まる度に新しい発見ができ、他の地域の言葉も知れて勉強になった。具志堅と瀬底が一番特徴的だった」と話しました。

同単語帳は、具志堅、渡久地、崎本部、瀬底、伊豆味、伊野波の6字の単語帳が発行され、町内学校と各公民館など30か所で読むことができます。



単語帳作成に携わった関係者ら

町商工会が町産品の優先使用を要請

7月6日、町商工会（松田泰昭会長）が町役場を訪れ町産品優先使用の要請を行いました。「盛り上げよう！今こそ我らの『県産品』のスローガンを掲げた7月の県産品奨励月間に合わせ、公共工事における地元企業の優先使用や、町民の地元産品優先使用の意識高揚を要請する文書が、平良町長と知念教育長、石川議長へ手渡されました。要請を受け平良町長は「町が発注している事業についてはこれまで以上に町内事業者が発注できるような力を入れながらやっていこうと思う。町産品をみんなで愛用しながら町の産業を育てていきたい」と話しました。



要請文を受け取る平良町長

瀬底小学校5、6年生 シュノーケリング体験を学ぶ

7月10日、瀬底小学校の5、6年生を対象にシュノーケリング体験（主催：本部町グッジョブ連携協議会）が瀬底島周辺の海で行われました。新型コロナウイルスの影響により学校行事等の中止や縮小が続く中で、子ども達に楽しい思い出を作りたいと地域住民や海洋研究者や環境教育プランナーなどの協力を頂き、今回の体験が行われました。

瀬底小学校6年生の金城大夢くんは「サングと魚の泳いでいるのが見えるくらい海が綺麗だったことに、今まで気づけなかった。事前学習では、サングの種類についてわかった」と話しました。

鳥袋ゆかり校長先生は「シュノーケル体験だけでなく、その前の事前学習についても学んでほしい。ふるさとの良さ、地域住民のありがたさに気づき、瀬底島だからこそできた体験であることを感じていただきたい」と話しました。



事前学習を行う児童たち

防災意識の普及啓発の一環 災害用備蓄食糧の配布

7月16日、防災意識の普及啓発の一環として、町内各小中学校、幼稚園の児童生徒及び学校職員へ、町より1,504食の災害用備蓄食糧の配布が行われました。これは、防災教育教材として災害用備蓄食糧の配布を行い、学校並びに家庭において防災について考える機会につなげていけるように行われました。

災害用備蓄食糧を受け取った上本部学園小渡克彦校長先生は「災害はない方がいいが、もし災害が起こった時にどうすればいいかを勉強してほしい」と話しました。

上本部学園小学3年生を代表して石川一龍くんは「カレーをくださりありがとうございます。家に帰って防災の話をしたい」と挨拶しました。



災害用備蓄食糧の贈呈を行う仲宗根総務課長



9月1日は「防災の日」だよ。身近な防災について考えてみよう！

上間紀彦さんが 子ども・子育てゆいまーる基金へ寄附

7月29日、上間紀彦さんが町役場を訪れ、子ども・子育てゆいまーる基金へ10万円の寄附を行いました。上間さんはその他にも、本部高校（上間均校長）、本部小学校（上間忠彦校長）、本部社会福祉協議会（喜納明美会長）、本部海洋園（田中さとみ施設長）に各10万円ずつ、渡久地行政区、野原老人会に各5万円ずつ寄附を行いました。



寄附を行った上間紀彦さん（左から3人目）

寄附を行った上間さんは「地域の方々に育ててもらったので、地域に還元をしたかった」と話しました。平良町長は「次の世代の人達を育てていきたいの思いをしっかりと受け止めて、子ども達の育成と次の世代づくりに使っていきたい」と話しました。

備瀬のワルミを描いた 油絵を寄贈

7月20日、具志清明さんが町役場を訪れ、備瀬のワルミを描いた油絵の寄贈を行いました。

具志さんは、車でドライブしながら描きたい風景などを探すほど絵を描くのが好きで、過去には



絵の寄贈を行った具志清明さん（右から2人目）

県内最大規模の総合美術展である「沖展」（主催・沖縄タイムス社）にも出展したことがあります。今回の絵を描いた際の難しかったところを尋ねると「奥行きを出すのが難しかった」と話し、「これからも、人が見て心が和むような絵を描いていきたい」と今後の意気込みも語ってくれました。今回寄贈された絵は、来年完成予定の多機能観光支援施設に飾られます。

町制80周年特集 vol.2

〈沿革〉2014年～2016年（平成26年～28年）

令和2年12月10日に町制80周年を迎えます。80周年を迎えるにあたり平成22年12月に70周年を迎えて以降、10年間の本部町のあゆみを3回に分けて紹介します。

2014年（平成26年）4月

本部小学校新校舎落成式 ①

バリアフリー化・エコスクールを取り入れた施設となっており、さらに自然災害にも対応できる安全面を重視した機能的な造りとなっています。



① 本部小学校新校舎

2014年（平成26年）11月

農産加工工場が完成（シークワサー加工施設） ②

原料の入庫から出荷までの全ての過程で、製品が「安全」に作られ、「一定の品質」が保たれるよう定められたGMP（健康食品の適正製造規範）基準に則って建設されました。



② 農産加工工場

2015年（平成27年）2月

フクギの里宣言

沖縄県では、2月9日を「フクギの日」と定め、それと連動して本部町においても、沖縄らしい美しい景観と快適な居住空間を醸し出す「フクギの里宣言」を行いました。



2015年（平成27年）10月

役場新庁舎落成式

2016年（平成28年）4月

もとぶかりゆし市場オープン ③

もとぶ産直株式会社が設立され、町産業支援センターに「もとぶかりゆし市場」がオープンしました。



③ もとぶかりゆし市場

2016年（平成28年）10月

シークワサー拠点産地認定

平成28年10月、県内3番目にシークワサー拠点産地に認定されました。本部産シークワサーを「もとぶパワー酢みかん」という新ブランドとして消費の拡大を図っています。

2016年（平成28年）10月

第6回世界のムトゥブンチュ大会 ④

海外から8つの国と地域から107人が参加し、県内関係者と交流を深めました。



④ 第6回世界のムトゥブンチュ大会

2016年（平成28年）11月

本部高校創立50周年



シークワサーが旬を迎えているよ！

新型コロナウイルス感染症 対策事業

本部町独自の支援事業



住民向け	対象	事業内容	お問合せ先
	 <p>町内在住者 宿泊事業者</p>	<p><もとぶ再発見魅力発信事業①></p> <p>町民に町内の宿泊施設を利用体験してもらうことによって本部の良さを再発見してもらい、その魅力を町内外に発信してもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 宿泊費の75%（上限1万円）を助成 	<p>総務課 ☎47-2101</p>
	<p>町内在住者 マリンレジャー 事業者</p>	<p><もとぶ再発見魅力発信事業②></p> <p>町民に町内でのマリンレジャーを体験してもらうことによって本部の良さを再発見してもらい、その魅力を町内外に発信してもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● マリンレジャー体験費用の5,000円を助成 	<p>建設課 ☎47-4200</p>
	<p>町内在住の 児童</p>	<p><夏休みが少ない子ども達への贈り物事業></p> <p>夏休みが短くなった児童へ文化体験を提供することを目的として、期間限定で本町児童と同伴保護者を対象とした文化体験のツアーを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ジンベエマリン乗船費用、バス乗車費用、体験活動費用を助成 	<p>企画商工観光課 ☎47-2700</p>
	<p>町内外消費者</p>	<p><地域消費拡大キャンペーン (キャッシュレスポイント還元) 事業></p> <p>町内の飲食店及び小売店等で対象のキャッシュレス決済を行った消費者に対してポイント還元を行い、町内外の消費者の消費意欲の拡大を図り、飲食店及び小売店等の支援を行う。</p>	<p>企画商工観光課 ☎47-2702</p>
	<p>65歳以上の 高齢者</p>	<p><もとぶウォーキングチャレンジ (高齢者フレイル予防) ></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で高齢者の通いの場が休止となり、外出や人と会う機会が減少している。引きこもりによるフレイルや認知症等の進行を予防するため、ウォーキングコースを作成し、期間を設け一定歩数を達成した方に賞品を贈る。</p>	<p>地域包括 支援センター ☎43-0565</p>
	<p>生活困窮者</p>	<p><生活困窮者生活必需品確保支援事業></p> <p>長期化する新型コロナウイルス感染症の影響による休職等に伴う大幅な収入減による生活困窮世帯が増加し、フードバンクのニーズが高まっている反面、経済活動の停止・縮小等により食料寄附の減少となっていることから、フードバンクの食料確保に係る経費及び生活必需品の支援を行う。</p>	<p>福祉課 ☎47-2166 本部町社会福祉 協議会 47-6655</p>

※各事業、実施にあたり変更等が生じる可能性があります。
事業開始時期など詳細については、本部町ホームページや各担当窓口にお問合せください。
(令和2年8月7日時点の情報です)



本部町ホームページ



台風シーズンが近づいてきました。日頃の備えが大事だよ！

本部町独自の支援事業



事業者向け	対象	事業内容	お問合せ先
事業者向け	 農家	<p><拠点産地品目保管支援事業></p> <p>自粛要請等で消費量が落ち込んでいる拠点産地品目について、保管経費を補助することで、事業者の経営継続への支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 拠点産地品目（本部町産シークワサー、アセローラの青果及び搾汁）の冷凍冷蔵保管経費を半額補助する。（予算上限：900万円） 	農林水産課 ☎47-2412
	 花卉農家	<p><花卉農家次期作支援事業></p> <p>新型コロナウイルス感染拡大により大きな影響を受けた花卉農家の事業継続を目的に、町内花卉農家へ次期作用の種苗購入費等の支援をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 花卉農家に対し種苗購入費の補助を行う。 1アールあたり3,000円を補助（予算上限：795万円） 	農林水産課 ☎47-2412
	 漁業者	<p><水産業者経営体力再生事業></p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で水産物の売上が減少し、漁家経営に影響を及ぼしているため、操業時に使用する漁船の燃料費を補助することで、操業継続を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月～1月（7ヵ月間）の燃料費を1/2補助（予算上限：500万円） 	農林水産課 ☎47-2412
	 介護事業者	<p><感染症対策介護施設応援事業></p> <p>新型コロナウイルス感染対策に係る器具・備品の購入に対する給付を行うことにより、感染症流行の第2波、第3波を見据えた持続的な感染防止対策の徹底を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 町内介護事業所にマスク、消毒液、体温計等の購入費用を支給する。 	福祉課 ☎47-2165

国や県の支援策



県民・事業者向け	対象	事業内容	お問合せ先
県民・事業者向け	住民	<p>離職・廃業や減収等により困窮者であって就労能力及び就労意欲のある方のうち、住宅を喪失している方又は喪失するおそれのある方を対象として住居費を支給するとともに、沖縄県就職・生活支援パーソナルサポートセンター北部の就労支援等を実施し、住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行う。</p>	家賃支援給付金センター ☎0120-653-930 （平日・土日祝日 午前8時30分～ 午後7時）
	事業者	<p>5月の緊急事態宣言の延長等により、売上の減少に直面する事業者の事業継続を下支えするため、地代・家賃（賃料）の負担を軽減する給付金を支給する。</p>	沖縄県就職・生活支援パーソナルサポートセンター北部 ☎0980-43-0240

※各事業、実施にあたり変更等が生じる可能性があります。
事業開始時期など詳細については、本部町ホームページや各担当窓口にお問合せください。
（令和2年8月7日時点の情報です）



本部町ホームページ



【町県民税・軽自動車税・固定資産税・国民健康保険税】の納付は便利な口座振替がおすすめです。

不法投棄は重大な犯罪です！

不法投棄をした者は、5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金、またはその両方が科せられます。不法投棄を見つけたら、健康づくり推進課または警察署へ通報してください。

✓土地の所有者には管理責任があります

土地の所有者（管理者）は、自分の土地に不法投棄をされたときは、捨てた者が不明な場合、その廃棄物を自らの責任で処理しなければなりません。日頃から清潔に保つようし、みだりに人が立ち入れないように囲いや防犯灯を設置するなどして、土地の管理に努めてください。

✓町での不法投棄防止対策について

町では不法投棄を未然に防止するために、次のような活動をしています。

- 不法投棄警告看板設置
- 町職員によるパトロール
- 広報誌などによる啓発活動

お問い合わせ 健康づくり推進課 TEL.47-5602

9月10日～16日は自殺予防週間です

悩んでいる人に気づいたら、「声をかけてあげる、話を聞いてあげる、専門家に相談するよう促す、温かく寄り添いながら、見守る」など、あなたにもできることがあります。

あなたとあなたの大切な人を、命の危機から守るために、ご自身や身近な方のこころの健康に関心をもちましょう。

こころの健康相談について

眠れない、食欲がない、気分の落ち込み、などは「こころの不調」のサインかもしれません。

悩みがある時は、抱え込まず誰かに話すことで気持ちが楽になります。また、自分だけでは気づけなかった解決策が見つかることもあります。

「誰も自殺に追い込まれることのない本部町」を目指して、本部町役場では保健師による心の健康相談を実施しております。ご希望の方はぜひご相談ください。

【日時】午前9時～午後4時（平日） ※正午～午後1時は除く

※事前にお電話にてご予約をお願いします。

お問い合わせ 福祉課 TEL.47-2165

カツオのピリ辛・生春巻

【材料(3本分)】

- 刺身用カツオ …… 80g
- きゅうり …… 1本
- サニーレタス …… 1枚
- 生春巻きの皮 …… 3枚
- 韓国のみ …… 1枚
- ラー油 …… 大さじ1
- 塩 …… 少々

【作り方】

- 1カツオは角切りにして、ラー油、塩と混ぜておく。
- 2きゅうりは薄くスライスし

て千切りにし、サニーレタスは巻きやすい大きさにしておく。

- 3生春巻きの皮は水を張ったボウルにさっとくぐらせる。きつく絞った清潔な濡れ布巾の上に広げ、韓国のみ・サニーレタス・きゅうり・カツオをのせる。
- 4皮が柔らかくなったら、しっかり巻き、3等分にカットし、皿に盛り付ける。

レシピ提供：本部町農山漁村生活研究会

令和2年度 住民健診について

新型コロナウイルスの感染状況が刻々と変化しており、スケジュールどおり住民健診が実施できない状況が続いています。住民健診の最新情報を本部町ホームページで更新してまいりますので、受診を希望される皆様は是非ご確認ください。住民健診は下記のステップで医療機関でも受診できます。 ホームページ



- 14月に届いた「令和2年度住民健診(健診通知書・がん検診受診券在中)」の封筒を開ける。
- 2おもて面で「○」がついた検査を確認する。
- 3うら面左「個別健診の案内」で医療機関を選び、予約をとる。

お近くの病院	電話番号	基本健診	肺がん	大腸がん	胃がん	子宮がん	乳がん
もとぶ記念病院	0980-51-7007	○					
やまだクリニック	0980-47-6660	○	○	○			
北部地区医師会病院	0980-52-0777	○	○	○	○		○
KIN放射線治療・健診クリニック	098-968-4664	○	○	○	○	○	○
かじまやリゾートクリニック	0980-51-1197	○				○	
運天産婦人科	0980-51-0131					○	
美ら海ハシ産婦人科	0980-54-4188					○	

4 医療機関を受診する。

※令和2年8月4日時点

【持ち物】健診通知書・がん検診受診券「特定健診受診券(国保保険証)」料金

家畜を所有している方へ

家畜伝染病予防法の一部改正により、家畜の所有者は衛生管理区域ごとに飼養衛生管理者（伝染病の予防を行う人）を選任し国に報告することが義務付けられました。

下記の家畜を所有している方は、本部町役場農林水産課（TEL：0980-47-2412）までご連絡ください。

【対象者】牛、水牛、鹿、馬、めん羊、羊、ヤギ、豚、いのしし、鶏、あひる、うずら、きじ、ダチョウ、ほろほろ鳥、七面鳥の所有者。
※ペットや趣味として飼育している場合でも対象となります。

令和2年度 本部町営市場出店希望者の募集

町営市場への出店希望者を次のとおり募集致します。

【空き店舗】2-1、4-4

【月使用料(税抜)】2-1(8,990円)、4-4(5,950円)

【応募条件】令和2年1月1日時点で本部町内に住所を有している者、町税等の未納がない方

【募集期間】令和2年9月14日(月)～10月16日(金)

※内覧につきましても募集期間中のみご対応させていただきます。

【申込方法】

《個人事業者》専用の店舗使用許可申請書、完納証明書、住民票抄本、任意の事業計画書等を提出

《法人事業者》専用の店舗使用許可申請書、登記事項証明書（履歴事項全部証明書）、町税の完納証明、任意の事業計画書等を提出

※事業計画書（例：事業概要・開業の目的、動機、収支計画、営業日数・時間）、事業経験、経歴・商品メニュー案等

【申請用紙配布場所及び受付場所】本部町企画商工観光課 商工観光振興班

お問い合わせ 企画商工観光課 商工観光振興班 TEL.47-2700



9月30日は国保税(第3期)の納期限です。納期限内の納付をお願いします。

ご寄附 ありがとう ございました。 本部町ちゅらまちづくり応援基金 令和2年6月1日～30日分

件数552件 総額11,239,526円
●決済方法により、入金確認がとれていないものは含んでおりません。今後、件数と金額は多少増加する予定です。

本部町への応援メッセージ

寄附して頂いた方々から町への応援メッセージが多数寄せられていますので、一部を紹介させていただきます。

- 本部町の綺麗な海が大好きです。この綺麗な海がいつまでも守られますように!
- いつでも美しい自然が身近にあり、地元の若い人が、住み慣れたまちを離れることなく働いて生活できることを願っています。
- 本部を訪れた気分を味わうために寄附しました。また必ずうかがいたいです。

9・10月の町内行事・イベント情報

日程	行事・イベント	場所
9月	5日(土) もとぶの自然を楽しむ講座(新型コロナウイルスの状況次第で中止)	
	12日(土) シニエグ本番(中止)	具志堅区内
	16日(水) 行政相談会(午後2時～4時)	役場町民ロビー
10月	21日(水) 行政相談会(午後2時～4時)	役場町民ロビー

●町内イベントは町ホームページのイベントカレンダーでも確認できます。

夜間納付相談日について

納付月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
固定資産税		○ 1期		○ 2期					○ 3期		○ 4期	
町県民税			○ 1期		○ 2期		○ 3期			○ 4期		
軽自動車税		○										
国保税				○ 1期	○ 2期	○ 3期	○ 4期	○ 5期	○ 6期	○ 7期	○ 8期	
後期高齢				○ 1期	○ 2期	○ 3期	○ 4期	○ 5期	○ 6期	○ 7期	○ 8期	○ 9期

9月の夜間納税相談日 **令和2年9月25日(金)** 午後5時30分～7時30分

※毎月25日実施(25日が休日であれば翌平日)※納税相談の際は、事前に電話連絡をお願いします。相談できる税/固定資産税・町県民税・軽自動車税(種別割)・国保税・後期高齢者医療保険料

9月は国保税3期・後期高齢3期の納付月です

※9月は国保税2期・後期高齢2期・町県民税2期(8月31日納付期限)未納の方に督促料100円が発生します。引き続き未納のままで延滞金も発生しますので、お早めに納付をお願いします。

お問い合わせ 健康づくり推進課 TEL.47-2701、住民課 TEL.47-5629

第十一回特別弔慰金の請求期間のお知らせ

戦没者等の遺族の方へ

先の大戦で公務等のため国に殉じた元軍人、軍属及び準軍属の方々に思いをいたし、その遺族に対し、国として弔慰の意を表すことを目的として特別弔慰金が支給されます。請求期間は**令和2年4月1日から令和5年3月31日まで**です。提出書類などについては下記担当課までお問い合わせください。

お問い合わせ 福祉課 福祉班 特別弔慰金担当 TEL.47-2165

もとぶ再発見魅力発信事業

新型コロナウイルスの影響による支援策として、「もとぶ再発見魅力発信事業」を実施します。

本部町民に対し、下記の体験に関する金額を補助します。体験した方が町内の魅力を再発見し、その魅力を発信し、観光需要の喚起につなげる事業です。

体験名	補助額
マリンレジャー体験	一人当たり5千円
宿泊体験	宿泊費の75%を補助する(上限1万円。ただし、世帯が2名以上の場合は上限2万円となる。)

実施期間: 令和2年9月1日～11月30日

申請期間: 令和2年9月1日～11月30日(ただし、予算の上限に達した場合は終了期間を待たずに終了する。)

詳細については、町ホームページにてお知らせします。

お問い合わせ マリンレジャー体験 本部港湾管理事務所 TEL.47-4200
宿泊体験 総務課 TEL.47-2101

令和2年度心豊かなながまちづくり推進事業おける公募のご案内

この事業は、町民の心を豊かにするために行政区又は、地域団体が地域住民と一体となって実施を目的とする。

【対象団体】法人格を持たない任意の団体で、かつ、本町に事務所を置く団体。5団体程度

【対象経費】一団体当たり上限20万円
地域住民が対象となり、かつ、心豊かなまちづくりにつながる事業経費

※人件費や個人及び団体の資産形成、食糧費、建設費等は補助対象外とする。

【申請締切】令和2年10月15日(木)

【申請書類】申請書、事業計画書、見積書、カタログなど
※申請様式は、本部町役場総務課又は、本部町ホームページにて取得できます。

【その他】令和3年3月12日(金)までに必ず事業完了すること

お問い合わせ 総務課 行政班 TEL.47-2101

国勢調査のお知らせ

総務省・沖縄県・本部町では、令和2年10月1日を基準日に国勢調査を行います。

国勢調査は、我が国の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行われる全数調査で、日本に住んでいるすべての人・世帯に回答の義務がある大切な調査です。

9月より調査員が住民票の有無などは関係なく、担当地域に住む全世帯を回り調査票を配布しますので回答をお願いします。

新型コロナウイルス感染防止のため、調査書類の配布や受け取りをできる限り世帯の皆様と調査員が対面しない非接触の方法で行うようにしていますので、回答はできる限りインターネット(スマートフォン・タブレット・パソコン)か郵送によりお願いします。

【インターネット回答期間】

9月14日(月)～10月7日(水)



お問い合わせ 企画商工観光課 TEL.47-2702

旬入り! もとぶパワー酢みかん 初出荷式

7月22日、本部町産青切りシークワーサー「もとぶパワー酢みかん」の初出荷式(主催・もとぶ産シークワーサー生産・消費拡大推進協議会)が、町産業支援センターで行われました。

同推進協議会会長の伊野波副町長は「今年の生産量は豊作で消費を高めていく必要がある。もとぶのブランドとして、みんなが消費し暑い夏を乗り切ろう」と話しました。また、農家を代表して高良久さんは「この暑さがシークワーサーにとつてとても良い。生産量をもっと伸ばして、町の一次産業を盛り上げていきたい」と意気込みを語りました。今年のシークワーサーの生産量は、約600tと去年の三倍の生産が見込め、かりゆし市場や伊豆味みかんの里、海洋博公園ハイサイプラザ内で青果や加工品の販売が行われます。



シークワーサーゼリーを食べる子ども達

県内初!「子ども子育てゆいまーる基金」支援自動販売機

7月29日、町役場において「子ども子育てゆいまーる基金」支援自動販売機のお披露目式が行われました。これは、同基金の支援自動販売機の商品1本購入につき3円が同基金に寄附される仕組みの自動販売機となっています。

平良町長は「子ども達を育てるこのプロジェクトに一緒になって参画出来たことを嬉しく思う。次の世代を担う子ども達が、学力の面、スポーツの面、文化の面、あらゆる面で羽ばたけるような環境を作っていきたい」と意気込みを話しました。

同基金に賛同を受け、事業提案を行った沖繩コカ・コーラボトリング株式会社(小山良彦取締役)は「自動販売機を二台でも多く増やし、しっかりとこの取り組みを広げていくことで、更なるご支援ができるよう精一杯取り組んでいく」と話しました。

現在、支援自動販売機は町役場をはじめ、町内に4台設置されています。



「子ども子育てゆいまーる基金」支援自動販売機

心豊かなまちの話題

「むんじゆる笠」職人の大城善雄さん

本町の工芸品の一つである「むんじゆる笠」を瀬底島で作っている大城善雄さんは、小学生の時に親から教わったのをきっかけに作りはじめました。約50年あまり作ってきた、現在は91歳になるがまだまだ元気です。

むんじゆる笠は、竹で作った骨組みに麦わらを並べて編んだ笠で、農作業の際の日傘として使われたり、琉球舞踊の小道具としても使われてきました。また、沖縄民謡の「スキキナナ節」の歌詞にも出てくるほど、瀬底島はむんじゆる笠の産地として有名でした。しかし今では、生産者は大城さん一人だけになってしまいました。大城さんは「糸を通すところが難しくなかなか素人では出来ない。今後は孫たちにも作ってほしい」と話しました。



もとぶ



むんじゆる笠生産者の大城善雄さん

学校給食に「もとぶかりゆしゴールド」登場!

7月30日、町産パイナップル「もとぶかりゆしゴールド」のスティックパイナップルが、町内幼稚園、小中学校の学校給食に提供されました。

子ども達に、地元産品を知ってもらい将来の需要に繋げてもらうため、地元産材活用支援事業を活用して学校給食に提供されました。

スティックパイナップルを食べた上本部学園小学1年生の上間咲太郎くんは「初めて食べた。甘くて美味しい」と話し、同学園小学1年生の田中英莉香さんは「冷たくて頭が痛いけど美味しかった。おかわりもした」と嬉しそうに話しました。

今後、もとぶ牛やアセローラなどの地元産品を使った料理が学校給食に提供されます。



スティックパイナップルに喜ぶ子ども達